



# 広報資料

## 【問い合わせ先】

第一管区海上保安本部交通部  
安全対策課長 植田 聖純  
TEL 0134-27-0118 (内線 2640)

## 令和元年における海難発生状況（速報値）

第一管区海上保安本部管内で発生した昨年1年間の船舶海難及び人身事故について速報します。

### 船舶海難

[( ) 内は、前年比]

- 船舶海難隻数は96隻で、前年に比べ1隻増加（内訳：別紙1）
- 船舶種類では、プレジャーボートが最も多く40隻（+17隻）で全体の約4割
- 一方、漁船は3年連続で減少し、昨年は33隻（-12隻）で平成30年に比べ約3割減
- 事故種類では、衝突が最も多く24隻（-12隻）で全体の約3割

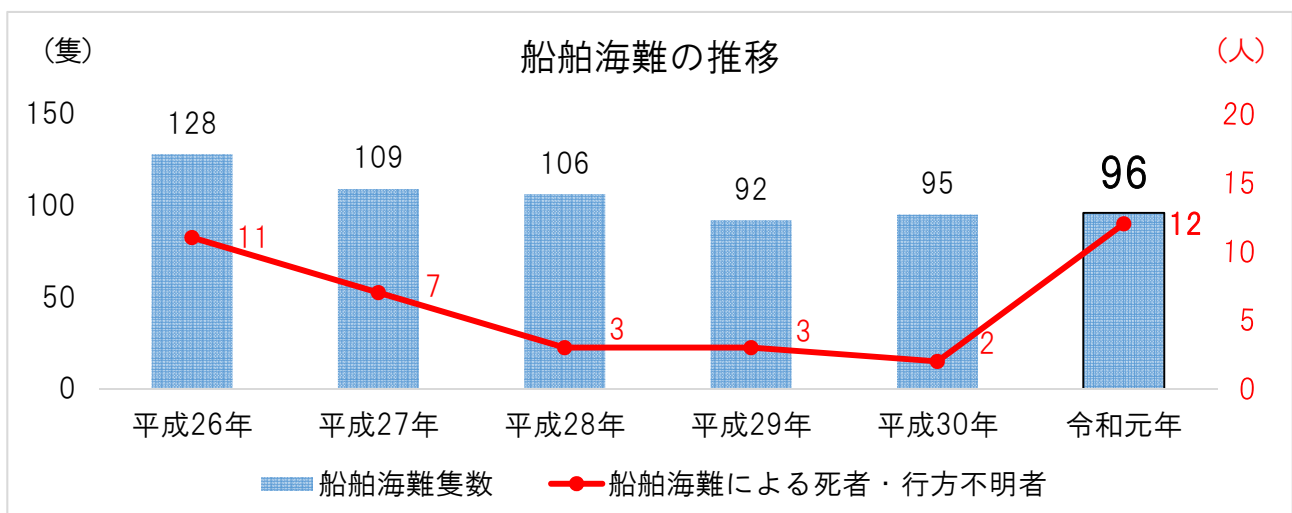
### 人身事故

- 人身事故者数は170人で、前年174人に比べ4人減少（内訳：別紙2）
- 乗船中の事故者数は85人（+4人）で、負傷が最も多く42人（-1人）
- マリンレジャー中の事故者数は26人（±0人）で、釣り中の事故が最も多い
  - ・ 釣り中の事故者数は17人（+6人）で、その死者・行方不明者数は7人（+2人）
  - ・ 遊泳中の事故者数は1人（-4人）、その死者・行方不明者数は昨年に引き続き0人

当本部では、昨年発生した船舶海難及び人身事故の傾向を踏まえ、引続き海難の減少に努めていくこととしています。

### 1 船舶海難の発生状況（詳細内訳は、別紙1のとおり）

**船舶海難隻数：96隻** [前年95隻に比べ1隻増加、3年連続で100隻を下回る]

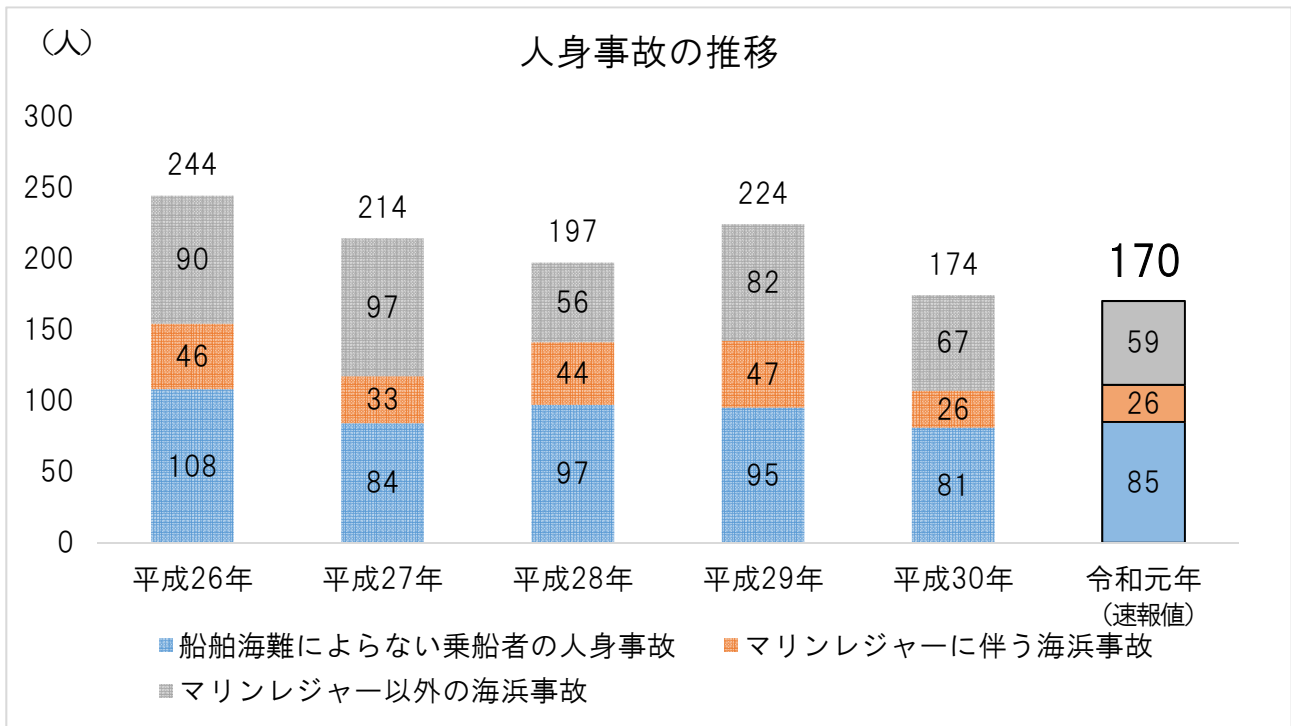


- (速報値)
- (1) 船舶種類：プレジャーボート40隻（+17隻）、漁船33隻（-12隻）、貨物船14隻（+3隻）
  - (2) 海難種類：衝突24隻（-12隻）、運航障害13隻（+12隻）、機関故障12隻（-13隻）、乗揚10隻（+6隻）
  - (3) 船舶海難による死者・行方不明者数：12人（+10人）

## 2 人身事故の発生状況（詳細内訳は、別紙2のとおり）

**人身事故者数：170人** [前年174人に比べ4人減少]

このうち死者・行方不明者数：68人 [前年に比べ8人減少]



(1) 船舶海難によらない乗船者の人身事故者数：85人（+4人）

そのうち死者・行方不明者数：17人（-3人）

(2) マリレジャーに伴う海浜事故者数：26人（±0人）

そのうち死者・行方不明者数：9人（+2人）

(3) マリレジャー以外の海浜事故者数：59人（-8人）

そのうち死者・行方不明者数：42人（-7人）

※ **船舶海難**とは、海上における船舶に衝突、転覆、乗揚、浸水、爆発、火災、行方不明、機関・推進器・舵等の損傷又は故障、その他安全な運航が阻害された事態が生じた場合をいう。

※ **人身事故**とは、船舶海難によらない乗船者の人身事故、マリレジャーに伴う海浜事故及びマリレジャー以外の海浜事故をいう。

※ **船舶海難によらない乗船者の人身事故**とは、衝突、乗揚、転覆等の船舶海難以外の事由により発生した船舶の乗船者の海中転落、負傷、病気等をいう。

※ **マリレジャーに伴う海浜事故**とは、遊泳中の事故や釣り中の事故等をいう。

※ **マリレジャー以外の海浜事故**とは、岸壁からの海中転落や自殺等をいう。

## 船舶海難の発生状況（速報値）

## 1 船舶海難隻数

## (1) 船舶種類

単位:隻	漁船	プレジャーボート※	貨物船	遊漁船	旅客船	作業船	タンカー	その他	合計
令和元年	33	40	14	3	2	0	0	4	96
平成30年	45	23	11	4	3	1	3	5	95
平成29年	54	22	5	0	2	1	0	8	92
平成28年	62	29	6	4	2	0	1	2	106
平成27年	47	29	14	10	2	1	2	4	109
平成26年	70	28	13	5	3	1	2	6	128

※ プレジャーボート：レクリエーション又はスポーツに用いられるモーターボート、ヨット等の船舶の総称

## TOPICS

現在の統計方法となった平成17年以降、初めてプレジャーボートの海難隻数が漁船の海難隻数を上回った。

## (2) 海難種類

単位:隻	衝突	運航阻害※	機関故障	乗揚	転覆	浸水	推進器障害	火災	舵障害	安全阻害※	行方不明	その他	合計
令和元年	24	13	12	10	7	6	6	6	0	0	0	12	96
平成30年	36	1	25	4	4	7	7	3	1	1	0	6	95
平成29年	19	12	13	6	9	8	11	4	0	1	0	9	92
平成28年	30	16	12	2	17	14	6	2	1	1	0	5	106
平成27年	34	17	13	7	11	9	5	5	3	1	1	3	109
平成26年	41	11	27	4	9	6	8	9	1	1	2	9	128

※ 運航阻害：バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流

※ 安全阻害：転覆に至らない船体傾斜、走錨及び荒天難航

## TOPICS

衝突24隻のうち漁船が11隻と最も多く、運航阻害13隻のうちプレジャーボートが7隻と最も多い。

## 2 船舶海難による死者・行方不明者数

単位:人	死者	行方不明者	合計
令和元年	5	7	12
平成30年	2	0	2
平成29年	2	1	3
平成28年	3	0	3
平成27年	6	1	7
平成26年	10	1	11

## TOPICS

死者・行方不明者12人のうち10人（死者3人、行方不明者7人）は漁船乗組員である。

（9月17日に発生した第六十五慶栄丸の海難の死者1名、行方不明者7名を含む）

## 人身事故の発生状況（速報値）

## 1 人身事故者数

平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
244 (109)	214 (87)	197 (70)	224 (101)	174 (76)	170 (68)

( ) 死者・行方不明者数

## 2 船舶海難によらない乗船者の人身事故

単位：人	海中転落	負傷	病気	自殺	その他	合計
令和元年	10 (7)	42 (1)	30 (8)	1 (1)	2 (0)	85 (17)
平成 30 年	10 (8)	43 (1)	25 (10)	1 (1)	2 (0)	81 (20)
平成 29 年	15 (12)	55 (2)	23 (4)	0 (0)	2 (1)	95 (19)
平成 28 年	11 (4)	58 (6)	23 (5)	1 (0)	4 (0)	97 (15)
平成 27 年	11 (6)	49 (0)	23 (7)	0 (0)	1 (1)	84 (14)
平成 26 年	25 (18)	58 (4)	24 (6)	1 (1)	0 (0)	108 (29)

※ その他：帰還不能、ガス中毒等

( ) 死者・行方不明者数

## TOPICS

負傷 42 人の約 6 割（24 人）が漁船乗組員の事故であり、事故原因の大半は作業中における自己の不注意によるもの。

## 3 マリンレジャーに伴う海浜事故

単位：人	釣り中	遊泳中	磯遊び中	サーフィン中	ダビング中	その他	合計
令和元年	17 (7)	1 (0)	3 (1)	3 (0)	1 (1)	1 (0)	26 (9)
平成 30 年	11 (5)	5 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	8 (0)	26 (7)
平成 29 年	35 (15)	10 (7)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	47 (24)
平成 28 年	21 (9)	11 (6)	4 (1)	2 (0)	0 (0)	6 (2)	44 (18)
平成 27 年	18 (11)	14 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	33 (14)
平成 26 年	20 (9)	20 (4)	3 (3)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	46 (18)

※ その他：ボードセーリング中、ウェイクボード中等

( ) 死者・行方不明者数

## TOPICS

- ① 釣り中の事故者は 17 人で、前年から 6 人増加。
- ② 遊泳中の事故者は 1 人で、前年から 4 人減少。[事故は海水浴場以外の場所で発生]

## 4 マリンレジャー以外の海浜事故

単位：人	海中転落	自殺	溺水	その他	合計
令和元年	22 (15)	30 (23)	4 (4)	3 (0)	59 (42)
平成 30 年	28 (17)	31 (27)	4 (3)	4 (2)	67 (49)
平成 29 年	27 (14)	41 (35)	8 (7)	6 (2)	82 (58)
平成 28 年	21 (16)	32 (19)	2 (2)	1 (0)	56 (37)
平成 27 年	36 (20)	43 (35)	3 (2)	15 (2)	97 (59)
平成 26 年	30 (18)	56 (42)	4 (2)	0 (0)	90 (62)

※ その他：病気等

( ) 死者・行方不明者数

## TOPICS

海中転落者 22 人の約 9 割（19 人）は岸壁からの転落。[徒歩 11 人、車両運転中 8 人]